

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: http://www.matsue-rotary.jp E-mail: office@matsue-rotary.jp

第 3437 回例会 (令和 6 年10月 9 日・水)

今週のプログラム

10月 9 日 (水) ゲストスピーチ

「アケリアス弦楽四重奏団の気楽な演奏会」

アケリアス弦楽四重奏団

Violin 伊藤 明氏、岡田冬子氏

Viola 井川晶子氏

Cello 喜久里諠氏

次週のプログラム

10月23日 (水) ゲストスピーチ

「街づくり、人づくり、幸せづくり」

日本でいちばん大切にしたい会社大賞受賞プレゼンテーション

(株)真幸土木 代表取締役社長 片寄敏朗氏

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
10月 9 日(水)	大 社	出雲商工会(旧大社商工会(大社件業南1344)事務局)
10月10日(木)	松 江 東	ホテル一畑
10月15日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
10月15日(火)	境 港	クラブ事務局(境港市上道町3147)TEL0859-44-7845
10月17日(木)	米 子 中 央	ANAクラウンプラザホテル米子
10月17日(木)	松 江 東	ホテル一畑
10月22日(火)	平 田	ホテル武志山荘
10月24日(木)	米 子 中 央	ANAクラウンプラザホテル米子
10月29日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
10月31日(木)	松 江 東	ホテル一畑

2024年10月の予定

- 10月 9 日(水) 定例理事会
- ※ 10月16日(水) 休会
- ※ 10月30日(水) 休会

●●● 誕生月 ●●●

景山 直観会員 3日 谷口 博則会員 4日
佐藤 勝治会員 17日 茨木 直人会員 20日
西村 康会員 31日

●●● 出席100%賞 ●●●

錦織 伸行会員 15年

第3436回例会記録

令和 6 年 9 月25日 (水・晴れ)

	会員数 (人)	出席者数 (人)	欠席者数 (人)	出席率 (%) (出席免除会員含む)	前々回補正 (%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	62	47 (リオン ⁴⁷ ₉₀)	15	79.66	80.00

メーカー：永通 (松江東)、大関 (松江しんじ湖)

会 務 報 告

堀江会長

- 公式訪問例会にあたり地区ガバナー、随行紹介
さかきばら たかし
榊 原 敬地区ガバナー、
たかたせいじ
高田聖次 岡山南クラブ会員増強委員長 (職業分類:
建築設計)
ふかみ たかし
深美 隆 地区幹事・地区会員増強委員長 (職業分類:
保険代理業)
- 会長幹事懇談会報告
- 本日、衛星クラブから 3名出席
- 榊原 敬ガバナーより今年度のRIテーマのバナー
を頂きます。
堀江会長 受け取り

- 津山ロータリクラブ名誉会員で、2003-04年度地区ガバナーを務められました
もり すうしやう
森 嵩正 様が9月19日ご逝去されましたので謹んでご冥福をお祈り申し上げ、黙禱

目次真司幹事

- 本日例会終了後、地区補助金事業最終の打ち合わせを行います。
御関係の方はお残りください。
- 9月29日(日)の服装について
- 10月2日は休会です。
- 10月6日(日)の地区大会の貸し切りバスについては、事務局からの連絡の通りです。
出発はJR松江駅南口 朝6時50分出発、時間厳守でお願いします。
当日の緊急連絡は事務局の携帯まで。

委員会報告

- 親睦・出席委員会
出席報告

山根睦会員

プログラム

「^{さかきばら たかし}榊原 敬ガバナー公式訪問例会
ガバナーのお話」
地区ガバナー ^{さかきばら たかし}榊原 敬氏

「地区大会のご案内」
^{たか たせいじ}高田聖次 岡山南クラブ会員増強委員長

ニコニコ箱

21,000 円

^{さかきばら たかし}★榊原 敬ガバナーよりスマイルを頂きました。
^{さかきばら たかし}堀江、谷口正、錦織、後藤、目次（榊原敬ガバナー、随
行の高田聖次様、深見隆様をお迎えして。）
^{さかきばら たかし}木村、中村、森岡（榊原敬ガバナーをお迎えして。）
小林（ガバナーのスピーチに）
信太（ガバナー公式訪問を歓迎して。）
桑原（先週自分で書いていないメッセージでベストメッ
セージ賞を頂きました。目次さん、島村さんありがとう
ございました。海難事故が少しでも少なくなるよう祈っ
ています。）

ベストメッセージ賞：該当なし
司会 茨木直人会場監督

床磨きの様子——皆さんとても楽しそうですね(*^_^*)

《ページの構成上、こちらにも掲載させて頂きました。》



2024-25年度ロータリー財団地区補助金プロジェクト 「国宝 松江城 魅力アップ大作戦」

2024年9月29日(日)

主催/松江ロータリークラブ

後援/松江市







かつ べ 晋

今回夏休みを利用して以前から考えていたシアトルへの視察旅行を企画した。

目的は姪の甥にあたる人物が大変優秀な人物でまだ20代で現在ハーバード大学医学博士課程とMIT（マサチューセッツ工科大学）の博士課程の二つの大学に在籍し両方の大学で研究をしているとのことでその研究内容また両大学の研究施設などに興味を抱いたからである。

併せて姪が通院しているシアトルのアレルギークリニックを訪ねその診療体制とか施設の見学が主な目的であった。8月11日から8月14日までの日付変更線を跨いでの3泊5日とややタイトな日程であったが残念なことに甥御氏との話し合いは急用ができたとのことで急遽中止になってしまった。

シアトルは太平洋岸の北西部に位置し水と森に囲まれてマイクロソフト、アマゾン、スターバックスコーヒーなどの世界的企業が本社を置くことでも知られ人口約70万人が暮らす都市である。夏でも23度位で大変快適な気候で避暑を兼ねて訪れる人が多いところである。この街での人気スポットの一つにウォーターフロントのパイプ・プレイス・マーケットというアメリカ最古のファーマーズマーケットがある。市場では様々な食料品、雑貨、自作の絵とか獲れたての魚介類が並び屋台が立ち並んでいた。スターバックスコーヒー店1号店もありその前には長い列ができていた。

そのパイプ・プレイス・マーケットに行き一歩驚いたのはそこを訪れる人々達であった。「多様性」という言葉を目の前に突きつけられた様な風景が広がっていた。ありとあらゆる人種の人々が様々な格好で歩いている様子はあたかも映画「スターウォーズ」の初期の作品で9歳の少年アナキン・スカイウォーカーが別の惑星に行き多種多様な異星人を目にする光景を思い出させるような風景であった。残念なことに日本人らしき人には一人も目にする事はなかった。同時に周りの人からは自分の日本ではごく普通の格好は変わった格好した人物に映ったに違いないと思った。それと同時に日本という国は地球上では極東の小さな島国に過ぎないとあらためて感じさせられた。

又このような多様性の人々と日本はどのようにして国際交流を深め貿易などを通して国力を高め独立した国家の立場を維持し発展させて行くには長期的多面的観点から考えて行かねばならないと思った。バブル後失われた30年という言葉がよく使われている現在、以前からよく言われてきたが日本は「セカンドハンドメーカー」の国で他国

によって造られた製品を日本に持ち帰りそれに様々に手を加え付加価値をつけて外国に輸出する、車などがその典型であろう。バブル前夜と言っても良いかもしれないが日本が経済的に絶頂期であった昭和55年頃筆者は確かに経済は欧米と比肩するまでになったがこの先どういう方向性に進むべきであろうかとやや不安な気持ちを持っていた。

その後日本発のグローバルな製品、ソフトウェアなどが造れず今日に至っているのではないだろうか。今回の旅行はマイクロソフト、アマゾン、スターバックスコーヒーなどの世界的企業が本社を構える米国屈指のビジネスセンターであるシアトルに行きその雰囲気を経験することならびに米国のアレルギークリニックの視察ならびに医療事情の実態の視察も含まれていた。

幸いにも姪の受診に付き添いでアレルギークリニックの診療場面、診療施設も視察でき又姪の知り合いでシアトルで開業している消化器内科専門医で米国と日本の両方の医師免許を持っている大変優秀なドクターとも短時間ではあったが米国の医療事情について話を聞くことができた。夕刻には近くの森からリスとかアライグマもやってくる広い庭で2日間にわたって会食しながら夫のソフトウェア開発者であるT氏と3人で現在のソフトウェア関連の話をする事ができた。50代後半の彼は朝6時に起床し4台の大画面のPCスクリーンに囲まれた執務室から米国の東海岸、インドなど世界各地の人々と仕事の打ち合わせとか指導をしていた。忙しい時などは徹夜までしながら仕事をすることもあったが仕事がとても楽しいとのことであった。

そして空き時間には森と湖に囲まれた素晴らしい環境の中でのウォーキングを楽しみ帰宅するという日々を過ごしていた。短い日数ではあったが大変有意義な視察旅行であった。帰りのデルタ航空のフライトの中で思ったことはこのままでは日本は様々な分野で他国におくれをとることになると感じられた。

そして一番強く印象づけられたことは人々の活力である。パイプ・プレイス・マーケットでの人々の躍動感、又シアトル市内の街は思ったより歩く人は少なかったが落ち着いた雰囲気でありながら同時にゆるぎない自信と底力の強さを感じさせられた。コロナ禍が落ち着いた昨年あたりから時々東京など都会に行くが人々にはなんとなく活力がないのが気になっていたが今回米国と日本とを往来しその活力の差を感じた。又自身は医学界に身

を置く立場であるがこの先自分になにができるかのヒントらしきものが芽生えてきたのも大きな収穫であった。

松江RCの中には将来各分野でCEOになれる可能性を秘めた人が多数いらっしゃると思っているが是非改革を進めそれぞれの分野で進化を开花させ活力ある社会にしていきたいと思いますと思う。短期間での達成は困難と思われるが若い人をどんどん海外に派遣し他国との交流を図ることが重要と考えている。日本の常識は世界の非常識との言葉を耳にするが今回の旅行でその事を実感した。

ただ日本人には素晴らしい民族性がある。例えば東日本大震災があった時世界中が驚いたそのガバナビリティである。

又最近福岡伸一（生物学者）の「生命とは何か」～動的平衡の視点から～というきわめて哲学的な講演会を聞く機会があったがわずか20万人の地方都市にもかかわらず300人の聴衆で満席の状況

であった。高名な方とは知っていたがこの光景を見て日本人の民度は非常に高いと感じた。そして評論家の渡部昇一氏は常々日本人のような民族は世界中をさがしてもそうざらにあるものではないと述べていた。又、作家の色川武大氏（雀士・阿佐田哲世の方がよくわかるかもしれないが）はその著書の中で負け続けだけはしてはいけない、負けたら切り返すことが大切だと書いていたが今の日本国内では負けることに慣れてしまっている雰囲気は漂っていて危機感が感じられないのが気になるところである。日本は短期間で大きく変わる事は困難かもしれないが10年、20年先を見据え世界に誇れる国になるべく待たなしの気持ちで日々努力をしなければならないと考えている。

今回の視察旅行に関して松江RCの方々も含めたくさんの方々にお世話になったことに感謝の気持ちを申し上げたい。

（呼吸器科医）

2024-25年度 地区大会 | 10月6日(日) 於：岡山ドーム

